

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
古殿 幸雄			
金3			
添付ファイル			

科目の概要	コンピュータや通信ネットワークの進展が著しい現代において、あらゆる分野で情報技術・通信技術が活用されている。ここでは、高度情報化社会の中で、情報資源を効率的に活用するための知識や技術を学ぶ。特に、コンピュータのハードウェアとソフトウェア、マルチメディアやデータベース、デジタル著作権とマナーを中心に学ぶ。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション 受講上のルール、予習・復習の方法、評価方法などの注意事項を述べた後、講義内容を外観する。シラバスを事前に読んでおくこと。</p> <p>第2回 コンピュータの歴史 コンピュータの歴史について、DVDビデオを観ながら概観する。コンピュータの歴史を事前に調べておくこと。</p> <p>第3回 コンピュータ事始め 教科書p. 1～p. 5を事前に読み、専門用語の意味を調べておくこと。また、第2回の内容を復習しておくこと。</p> <p>第4回 コンピュータの構成要素 教科書p. 135～p. 137の10行目までを事前に読み、専門用語の意味を調べておくこと。また、第3回の内容を復習しておくこと。</p> <p>第5回 記憶装置の役割と種類 教科書p. 137の11行目～p. 138を事前に読み、専門用語の意味を調べておくこと。また、第4回の内容を復習しておくこと。</p> <p>第6回 補助記憶装置の役割と種類 教科書p. 139の1行目～26行目までを事前に読み、専門用語の意味を調べておくこと。また、第5回の内容を復習しておくこと。</p> <p>第7回 入出力装置 教科書p. 139の下から7行目～p. 141までを事前に読み、専門用語の意味を調べておくこと。また第6回の内容を復習しておくこと。</p> <p>第8回 2進数 教科書p. 106～p. 118までを事前に読み、専門用語の意味を調べておくこと。また、第7回の内容を復習しておくこと。</p> <p>第9回 システム構成要素 教科書p. 142～p. 147までを事前に読み、専門用語の意味を調べておくこと。また、第8回の内容を復習しておくこと。</p> <p>第10回 OSとファイルシステム 教科書p. 148～p. 156までを事前に読み、専門用語の意味を調べておくこと。また、第9回の内容を復習しておくこと。</p> <p>第11回 マルチメディア 教科書p. 169～p. 175までを事前に読み、専門用語の意味を調べておくこと。また、第10回の内容を復習しておくこと。</p> <p>第12回 データベース 教科書p. 204～p. 210までを事前に読み、専門用語の意味を調べておくこと。また、第11回の内容を復習しておくこと。</p> <p>第13回 著作権とマナー 教科書p. 227～p. 233までを事前に読み、専門用語の意味を調べておくこと。また、第12回の内容を復習しておくこと。</p> <p>第14回 総合演習 第2回～第13回までの内容から100問の演習問題を課すので、第2回～第13回までに実施した演習問題や復習問題を見直しておくこと。</p> <p>第15回 全体のまとめ 全体を総括する。総合演習の問題で分からなかった内容があれば、分かるようになるまで復習しておくこと。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>①コンピュータのハードウェアのしくみが説明できる。</p> <p>②コンピュータのソフトウェアのしくみが説明できる。</p> <p>③情報資源を効率的に活用するためのマルチメディア、データベース、デジタル著作権とマナーについて説明することができる。</p>
授業の方法	講義形式で行う。
成績評価の方法	平常点(40%)、小テスト・演習点(10%)、定期試験(50%)を総合的に評価する。各項目の内容については、第1回の講義時に説明する。

教科書・テキスト	古殿幸雄著『入門ガイダンス 情報のマネジメント —不確実性への意思決定アプローチ— 第2版』中央経済社、2020年
参考書	古殿幸雄編著『最新・情報処理の基礎知識—IT時代のパスポート—』サイエンス社、2010年
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	授業の内容に述べた通り。
履修上の留意事項	情報リテラシーⅡも履修することが望ましい。
オフィスアワー	メールにて日程を相談して欲しい。
課題に対するフィードバックの方法	y-kodono*@*osaka-aoyama. ac. jp（@の前後にある*は削除して使用）
実務経験	
その他	